

市民アンケートの実施方針

■調査の目的

景観計画の策定に当たり、景観資源の洗い出し、景観に対する市民の関心や、今後景観形成を行っていくうえでの意向等を把握し、景観計画に反映させるため市民アンケートを実施する。

- ・ 景観資源の発掘・景観特性の抽出
- ・ 市民の景観に対する現状認識の把握
- ・ 景観形成を図るうえでの方策に対する意向の把握

■調査の概要

1. 対象地域：福山市全域
2. 対象者：15歳から
3. 配布数：3,000票（回収率30パーセントを想定）
4. 抽出方法：住民基本台帳による地域別無作為抽出
5. 実施時期：2月中旬発送，2月下旬回収
6. 実施方法：配布及び回収は郵送により行う
7. 設問内容（設問項目の設定目的は裏面）
 - ① 回答者の属性
 - 性別・年齢・居住地・居住年数・景観に対する関心
 - ② 居住地周辺について
 - 良好な景観資源の抽出
 - 景観阻害要素の把握
 - ③ 福山市全域について
 - 景観に対する現状の認識
 - 福山市の特徴的な景観
 - 良好な景観資源の抽出
 - ・ 眺望，情景，重点地域，建築物・工作物，樹木，公共施設
 - ④ 景観形成方策
 - 景観に対する関心
 - 行政の取組
 - 市民参加意向

景観計画策定 アンケート設問項目の設定目的について

設 問	内 容	設定目的
問 1～4	回答者の属性（性別，年齢，居住地，居住年数）	・回答者の属性を把握し，各設問との属性別のクロス集計・分析を行う。
問 5	身近にある景観資源	・地域における景観資源，景観特性を抽出する。 ・属性でのクロス集計により，特徴的な傾向を把握し，地域別の目標や景観形成方針等に反映する。
問 6	身近にある景観阻害要素	・地域における景観上の課題（対策が必要な候補）を抽出する。 ・属性でのクロス集計により，地域別の方針を検討する基礎資料とする。
問 7	本市の景観の魅力の有無	・景観計画策定の必要性を裏付けるために必要。 ・事後評価に当たっての指標として定量的に把握。
問 8	特徴的な景観について	・本市を印象付ける特徴的な景観を抽出し，景観形成における基本理念等に反映する。
問 9	景観資源の抽出（眺望景観）	・景観形成の方針を検討するための基礎資料とする。 ・地域別の目標と方針への反映を想定。
問 10	景観資源の抽出（情景）	・景観形成の方針を検討するための基礎資料とする。 ・地域別の目標と方針への反映を想定。
問 11	特に景観形成の取組が必要な地区の抽出	・景観形成の方針（行為制限基準等）を検討する基礎資料とする。 ・重点地区の候補とし，具体的景観施策の検討資料とする。
問 12～13	景観資源（建築物・工作物・樹木・公共施設）の抽出	・景観形成の方針を検討するための基礎資料とする。 ・景観重要建造物の指定方針や景観重要樹木の指定方針の基礎資料とする。 ・景観重要公共施設の整備方針の基礎資料とする。
問 14	景観形成への関心	・景観形成を進めていく前提として，市民の景観に対する意識や関心の度合いを把握しておく必要がある。
問 15	行政が重点的に行うべき取組	・施策間の優先順位の参考とする。 ・地域別等のクロス集計により，地域別の整備方針に反映する。
問 16	景観形成への取組意向	・景観施策に対する市民の理解度や指示の状況を把握することにより，推進方策の検討や啓発活動の参考とする。